

# 第3学年



## 学びのカテゴリー「花」

第2学年では、野菜栽培で試行錯誤を繰り返し、願いをもちながら仲間と共に活動することのよさを味わってきた。第3学年では、自分の願いだけではなく、自分以外の他者の考えを受容しながら活動を進めることを大切にし、人のためになる経験を積むとともに、花との関わりから命の大切さについて探究していく。第3学年までの学びの過程とつながりをもちつつ、他者や命についてより探究することができると考え、カテゴリーを「花」と設定した。

窪田 泰三  
林 賢太郎  
鈴木 香子

第3学年2組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：花（全105時間）

第3学年の目標	(1) 問題解決力に関わって 花や人との関わりを通して、出会った問いをもとに、自分や仲間、花が幸せに生きるために自分にできることを考え、やりきることができるようにする。												
	(2) 関係構築力に関わって 見る人の幸せのために行う様々な活動を通して、仲間の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを筋道立てて伝えたりしながら、エラーやジレンマに対する互いに納得できる考えを生み出し、活動することができるようにする。												
	(3) 貢献する人間性に関わって 栽培活動や様々な人との対話を通して、自分の長所に気付き、自分や仲間、花を幸せにする方法を考え、仲間と共に行動しようとする態度を養う。												
カテゴリー設定の理由	2年生では、野菜栽培でトライアル&エラーを繰り返し、願いをもちながら仲間と共に活動することのよさを味わってきた。3年生では、自分の願っただけではなく、他者の考えを受容しながら活動を進めることを大切に、人のためになる経験を積むとともに、花との関わりから命の大切さについて探究していく。これまでの学びの過程とつながりをもちつつ、他者や命についてより探究することができ、児童の自己実現に向かうために必要な資質・能力を効果的に育むことができると考え、カテゴリーを「花」と設定した。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	○相互理解、寛容 ・親切、思いやり ・よりよい学校生活、集団生活の充実 ・生命の尊さ ・自然愛護												
学びを構成する要素	命 命をつなぐ 植物 人 仲間 全校 願い 幸せ 喜び 貢献 働く												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名(時数)	「花で人のためにやってみよう」(48時間)					「花で人を幸せにしよう」(40時間)					「次へつなぐ 私たちの花壇や思い」(17時間)		
主な学習活動	<p>○花壇にある去年の3年生の花をどうするかを考える。</p> <p>○花の命を大切にするための方法を考え、花でできることを実行する。</p> <p>○花の命を大切にするとともに、人のためになることを考え、さらに実行する。</p> <p>○活動で生まれたエラーやジレンマと向き合い、学級の仲間と対話し、考える。</p> <p>○自分たちの花壇をつくるための計画を立て、実行する。</p> <p>○これまでの歩みをもとに、自分たちの活動の願いを明確にする。</p>					花夏の前世話を計画し取り組んだこと	<p>○花壇の様子を確認、これまでの取組の成果を突感する。</p> <p>○願いの実現に向けて、花壇に他学年を招待し、花壇の花や自分たちの思いを伝える活動を行う。</p> <p>○伝える活動を行う一方で、自分たちの花との向き合い方について振り返り、「花の幸せ」について考える。</p> <p>○運動場横の花壇づくりの依頼を受け、これまでの取組や願いをもとに花壇の計画を立てる。</p> <p>○「人の幸せ」を考え、全校から花壇について意見をもらい、計画を再検討する。</p> <p>○計画をもとに、花壇づくりを実行する。</p> <p>○完成した花壇を放送で紹介したり花壇に招待したりすることで発信し、全校の仲間の思いを確かめる。</p> <p>○全校の声やこれまでの取り組みをもとに学級の取組や自分の生き方につながるもの確かめる。</p>					<p>○これまでの取組を振り返り、大切にしてきたことを確かめる。</p> <p>○「人の幸せ」を考え、幸せにする相手や場面を具体的にイメージした上で、冬花壇を構想する。</p> <p>○次の3年生のことを考えたときに、自分たちにできることを考え、これまでの取組や思いを形にしてまとめ、伝える活動を構想する。</p> <p>○これまでの活動を振り返るときに、「花とは自分たちにとってどんなものか」を考え、花や花の命についての思いを確かめる。</p> <p>○「人の幸せ」「花の命」に対する思いをまとめ、2年生に伝える活動を実行する。</p> <p>○これまでの取組を振り返り、自分の生き方につながるもの確かめる。</p>	
想定されるエラー(■)ジレンマ(●)【道徳的諸価値】	<p>■計画したことをやろうと思っても、全員で取り組むことが難しい。</p> <p>■何度も話し合い、改善しようとしてもうまく進めることができない。</p> <p>●人のためと思って活動していたことが、人のためにならず、嫌な思いをさせてしまった。</p> <p>●やることに意味を感じるが、少しでも嫌な思いをする人がいるから今後の活動をどうしたらよいのだろう。</p> <p>【努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労・よりよい学校生活・生命の尊さなど】</p>						<p>■自分がよいと思って伝えたことが、なかなか他学級の仲間には伝わらない。</p> <p>●自分がやりたいと思ったことと、全校の仲間が思っていることに違いがあってどうすればよいのだろうか。</p> <p>●どこまで全校の仲間の声を計画に受け入れたらよいのだろうか。</p> <p>【努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労・よりよい学校生活・生命の尊さなど】</p>					<p>■2年生が本当に知りたいことは何だろう。</p> <p>■自分たちが4月に悩んだように、次の3年生も花壇の花をどうするかを考えることになると思う。だとすると、3月末に花壇の花を全て無くしてしまった方がよいのだろうか。</p> <p>【個性の伸長・希望と勇気・相互理解、寛容・生命の尊さなど】</p>	
人材活用施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の仲間</li> <li>・学校の先生</li> <li>・園芸店の人</li> <li>・家族</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の仲間</li> <li>・学校の先生</li> <li>・園芸店の人</li> <li>・家族</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生</li> <li>・卒業する9年生</li> <li>・新入生</li> <li>・家族</li> </ul>	
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：もっと知りたい、友達のこと(話す・聞く)</li> <li>・図画工作：押し花を使ったアート活動(押し花を使った絵、キャンドル)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：山小屋で三日間過ごすならはんで意見をまとめよう(話す・聞く)</li> <li>・図画工作：押し花を使ったアート活動(ハーバリウム)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：伝わる言葉で表そう(書く)</li> </ul>		

単元名	本単元の目標		
	問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
花で人を幸せにしよう (40)	花を育てる意味や願いを明確にもち、その実現のために自分にできることを考え、最後までやり切ることができるようにする。	願いを実現するために、仲間の考えを受け入れながら最適解・納得解を見だし、エラーやジレンマを乗り越えるために行動し続けることができるようにする。	仲間と共に活動することやより幅広い人の声を受け入れながら考え、行動することのよさに気づき、願いの実現に向けて行動しようとする態度を養う。

活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組や花壇の現状を振り返るとともに活動の願いを確かめる。</li> <li>もっと花壇を見てもらうために花壇を紹介する活動を考え、内容を構想する。(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花壇を紹介するために、チームごとに内容や方法を考え、準備を進める。</li> <li>他の学年を招待し、花壇の紹介を行う。</li> <li>実際に行動したことを、願いをもとにして振り返り、自分のよさや改善点に気付く。(10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動場横花壇の依頼を受け、これまでの花壇づくりの経験をもとに花壇の計画を立てる。</li> <li>「全校の仲間の声」を取り入れ、願いを実現する花壇にするためにアンケートやインタビュー活動を行う。その上で自分の思いと仲間の声の両面を大切に計画を生み出し、全校の仲間の声を取り入れた花壇をつくり出す。</li> <li>放送や他の学年を招待して、花壇の紹介を行う。(20)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校の仲間からの声を聞き、願いがどれだけ実現できたかを確認する。</li> <li>これまでの取組を振り返り、クラスとしての成果と課題を見だすとともに、活動の中で感じた大切な生き方について確かめる。(6)</li> </ul>
加筆修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>花壇の様子から、自分たちが取り組んできたことが花の成長につながっていることを実感する。</li> <li>よさだけではなく、花壇の改善点に気付く。</li> <li>自分たちの願いに立ち返り、「誰かのためになる」には、もっと花壇に人が来てもらえる工夫や企画が必要であると気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>願いに立ち返りながらチームの仲間と共に内容や方法を繰り返し考えることで「全校の仲間のためになる」ものを目指す。</li> <li>チームでエラーに立ち向かいながら、繰り返し考え、準備を進める。</li> <li>実際に行動したことから改善点を見だし、再度内容や方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの経験をもとに花壇づくりを進めようとする。</li> <li>願いに立ち返り、「全校のためになる」花壇づくりを考え、全校の声をどのように取り入れるかを考える。</li> <li>自分の思いと全校の声の両方をもとに活動することの難しさに向き合いながら、活動を進める。</li> <li>実際の全校の反応からこれまでの活動を振り返り、よさや改善点を見だし、再度花壇作りに活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>願いをもとに活動を振り返り、自分たちの歩みが願いの実現につながっていることを実感する。</li> <li>4月からの取組で生まれたエラーを想起しながら今の活動を振り返ることで、人のためになることがどうということかを考え、生き方につなげる。</li> </ul>
実際の姿				
エラー・ジレンマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チームの仲間との思いの違いに葛藤する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 他学年に伝えるときに、自分の想定よりも相手に伝わらなかったことに対して難しさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の「こうしたい」という思いと全校の仲間の思いの違いから、自分の思いを優先したいけれど、仲間の思いも受け入れなければならないことに葛藤する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ どこまで全校の仲間の声を取り入れればよいのかが分からず、難しさを感じる。</li> </ul>

(1) 目標

これまでの歩みと夏休み前に経験したエラーをつなげながら活動を振り返ることを通して、「人のためになる」とはどういうことかについて考え、納得解を見いだそうとすることができる。(関係構築力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

「人のためと思ってやっていることが、人のためにならなかった」という経験をもとにして、「人のためになるとはどういうことか」について、それぞれの納得解を見いだすために考え、議論する。本時(28/40)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童の発言)	教師の手立てと見届け
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分たちの願いにより近づくために、大切にしていけることは何だろう。</p> </div> <p><b>1 これまでの歩みを確かめる。</b></p> <p>○夏休み明けの花壇紹介や花壇づくりをやってみて、あなたはどう感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇に人を招待することで、よく花壇について知ってもらえた。</li> <li>・新しい花壇づくりをするときに、全校の仲間の声を取り入れることは正直大変だったけれど、自分たちだけではなく、みんなの花壇になったと思った。</li> <li>・前と比べて、花壇もそうだけれど、仲間と意見を出し合って、協力して取り組むことができた。</li> </ul> <p><b>2 「人のためになるとはどういうことか」について考える。</b></p> <p>○これまでの活動を振り返ったときに、これが大切だと思うものは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だけではなく、仲間と一緒に頑張って願いに向けて行動すること。</li> <li>・うまくいかないことはあるけれど、何度もチャレンジしていくこと。</li> <li>・全校の仲間と直接関わり、声を取り入れていくこと。</li> </ul> <p>○「人のためになる」とはどういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の「こうしたい」という思いも大切だけど、そこに周りの人の声を取り入れていくこと。</li> <li>・人のためを思って活動するだけでは足りなくて、最後には相手の人が幸せを感じることに。</li> <li>・願いも行動も大切になるし、相手の人の気持ちを考えることや確かめることも必要なこと。</li> </ul> <p><b>3 話し合ってきたことをもとに、全体で納得解を見いだす。</b></p> <p>○これから3-2が本当に大切にしたいことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の気持ちを考えること、行動すること、確かめること。</li> <li>・確かに難しいことかもしれないけれど、みんなで向き合って進んでいくこと。</li> <li>・人のためも大切だし、花と向き合っていくときにも同じような思いでいることが大切になる。</li> </ul> <p><b>4 自己の学びを振り返る。</b></p> <p>○ここまでの対話を通して、あなたが最初と今で考えが変わったこと、大切だと思ったこと、さらに考えたいと感じたことなどをあなたの言葉で残そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれかのために、その人と直接関わるのが大切。</li> <li>・全ての人にできるわけではなくても、そうしようとする思いを大切にしたい。</li> <li>・花の活動でも、日常生活でも大切にしていきたい。</li> </ul>	<p>○前時までにこれまでの歩みをワークシートにまとめ、本時での学びにつなげられるようにする。</p> <p>○これまでの歩みを「花の様子」「全校の声」「自分と仲間の関わり」「自分の成長」という視点で確かめ、それぞれの成長を児童の言葉で確かめ合えるようにする。</p> <p>○夏休み前の活動の歩みを確かめるとともに、そのときの児童の行動や言葉をもとにしながら「人のためと思って活動したことが、残念ながら人のためにならなかった。」「自分たちで活動を中止する決定をした。」といったジレンマやエラーを想起させることで、夏休み前と夏休み明けでの活動をつなげながら考えるきっかけが生まれるようにする。</p> <p>○夏休み前の活動と比べて「仲間の声を取り入れる。」「仲間のために行動する。」といった成長を感じる発言を認めるとともに、「まだ全てできているわけではない。」といった自分の弱さを認められる発言も認め、それぞれの思いを受け止めながら考えられるようにする。</p> <p>○具体的な経験から活動を振り返りながら、「そもそも人のためになるとはどういうことか。」と問い、価値そのものについて一般化できるようにする。</p> <p>○「人のため」を考えるとともに、「花そのもの」を大切にしてきたこととつなげながら考えさせることで「人」「花」の両面から考えられるようにする。</p> <p>○花の活動だけではなく、日常生活での人との関わりにもつなげながら考えられるようにする。</p> <p>○子供たちの言葉、思いをもとにしながら納得解を見いだすことができるようにするとともに、この段階で一つの答えが見いだすことができなくとも、考え続けたことを価値付けるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b></p> <p>これまでの歩みと経験したエラーをつなげながら、「人のためになる」「花のためになる」とはどういうことかを考え、これからの活動で大切にしたいことを自分なりに言葉にしている。(関係構築力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言内容や学びの振り返りの記述から見届ける。</li> </ul> </div>